

趣意書

日本産業看護学会について

2012年6月作成
2015年11月改訂

社会を構成する人々は社会経済活動を営んでおり、その中核をなすのは労働です。家庭内での家事や育児・介護も大切な労働であり、人間にとって労働は食事と同じように生きて行くために必要な営みです。病気やストレスを抱えながらも人々は生きがいを持って働き、家族や所属するコミュニティの一員として生きています。そのような中、安全で健康な労働環境を護る現場で医療や看護に求められているのは、コミュニティ全体の特徴を的確に把握し、生活や職場といった環境の問題点を明らかにした上で、より良い対策を提案する力です。誰もがいきいきと働き、社会全体の活性化につながるような支援が求められています。

看護学は、各領域の専門化、体系化が進み、めざましい発展を遂げてきました。しかし、「労働」を十分に考慮した看護については、企業等における産業看護職による実践の蓄積はあるものの、その知見を統合し、看護界全体に提供することは十分に行われてきませんでした。今後は、「労働」を視点に含めた看護を広く展開できるように、学問として研鑽していくことを目指し、日本産業看護学会を設立します。

1. 学会の目標と主な事業および参加方法

1) 目標：

学問としての産業看護学の発展と高度な実践能力の開発により、社会に貢献することを目指します。

2) 主な事業：

- (1) 学術集会の定期開催
- (2) インターネットジャーナルによる学術誌の定期発行
- (3) 看護基礎教育における産業看護教育・産業看護卒後教育のカリキュラム構築
- (4) 教育・研究者・実践者の連携
- (5) 産業看護診断体系の構築
- (6) 学会ホームページ (<http://www.jaohn.com/>) やEメール等を通じた情報提供

3) 学会への参加方法

本会は会員制です。会員登録の方法等は次頁の通りです。

4) 名簿情報の取り扱い

- (1) 名簿情報は学会運営および学会員の交流のため、名簿情報（氏名・所属）を学会ホームページで開示する（開示の同意した者の情報のみ）。
- (2) 調査・研究及び広報のため、申請と理事会による審議により、正会員（学生会員含）は名簿情報を利用できる（利用に同意した者の情報のみ）。

【入会・入金のご案内】

1. 会員の種類

- 1) 正会員 学会誌への投稿・学会発表ができ、学会誌および会員名簿の利用ができる。
年会費 8,000 円（学生 5,000 円）
- 2) 準会員 学会への参加と会誌の利用ができる。年会費 5,000 円
- 3) 賛助会員 学会を支援する個人または法人。年会費 30,000 円
 - ① 賛助会員は日本産業看護学会ホームページに広告用のバナーを無料で掲載できる。
 - ② 日本産業看護学会学術集会に 2 名まで無料で参加できる。
 - ③ 日本産業看護学会学術集会で展示用ブース設置権を優先的に確保できる。

2. お申込み方法

- 1) 会員になるには評議員 1 名（学会ホームページ参照）の推薦を受けた上で、本会入会申込書（裏面）を学会事務局へメール（jaohnadmin@mbox.health.uoeh-u.ac.jp）またはファックス（093-692-0259）にてお送り下さい。
- 2) 送信時の表題は「日本産業看護学会会員申込」として下さい。
- 3) 2) の申し込み後、メールかファックスで返信をお送りします。
- 4) 推薦者がいない場合には、学会事務局までご相談下さい。

3. ご入金方法

- 1) 該当する会員の種類の年会費を下記の郵便局の口座にお振込み下さい。
- 2) 郵便局に備付の料金払込人負担の払込用紙（青色）を使用してください。
- 3) 通信欄に①入会年度、②ご所属先、③お名前、④会員番号の記入をお願いいたします。
入金者が確認できないと入会手続きができない可能性があります。

口座番号：〈記号〉 0 1 7 4 0 6 〈番号〉 1 2 6 4 3 5 口座名：日本産業看護学会
--

【連絡先】

事務局（産業医科大学産業保健学部産業・地域看護学講座内）

Fax: 093-692-0259

E-mail: jaohnadmin@mbox.health.uoeh-u.ac.jp

